

かえる倶楽部タイムズ

特集 「尿管結石の最新治療」

尿路の結石は、腎臓で結晶化して尿とともに尿管に下降してくるとされています。尿管は径が数mmしかないのここを結石が通過するときには閉塞をおこすと、蠕動が異常に高まって、腎盂内圧が上昇することが結石の痛みの原因です。尿管の流れにしたがって下降、自排することがほとんどですが、尿管壁がむくんで動かなることがあります。この場合は積極的な治療が必要です。



LumenisPlus120H

結石の治療としては、ドルニエ製、対外衝撃波結石破碎装置を使用しており、1時間程度仰向けに横になり、レントゲンで照準を定め2000回衝撃波を繰り返し照射することで破碎できるため外来で対応しています。

大きさや結石の硬さによっては、尿管鏡を用いて直視下にレーザーで破碎する方法が必要となることもあります。こちらは入院の上、全身麻酔下に行います。当院ではこの経尿道的結石碎石術を2016年より積極的に導入し、年間30例以上施行してまいりました。

2021年度より、最新式レーザー治療器LumenisPlus120Hを導入しており、120Wの高出力で結石のdustingとfragmentationを使い分けることで、破碎効率が飛躍的に向上しました。効果的な治療が提供できる体制が整っております。ぜひご活用ください。

(最新式レーザーによる結石治療 全身麻酔・予定入院日数4~6日)



結石のdusting
細かく碎石されている

例年、水分の不足しがちな夏に結石は生成され、秋冬に下降してくるケースが多くみられます。さらに結石は栄養過多・運動不足などとの関連が指摘されています。そういった意味でメタボリックシンドロームのもっとも初期の症状ともいえるわけです。

尿管結石が発症したらその痛みは強烈です。しかし、これまでの食生活や運動習慣では、将来の心臓や脳血管といったもっと重大な病気が発生するかもしれないという、からだからの警告かもしれません。

結石治療後は生活習慣を改める好機でもあるといえそうです。

【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00
 TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

関西電力病院
泌尿器科

部長 青山 輝義



日本泌尿器学会指導医
 泌尿器腹腔鏡技術認定医 がん治療認定医
 大阪泌尿器科臨床医会 幹事 学術委員
 【所属学会】

日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会・日本ミニマム創学会
 日本癌治療学会・日本癌学会・日本抗加齢学会
 日本女性骨盤底医学会・日本骨盤臓器脱手術学会

お知らせ 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

